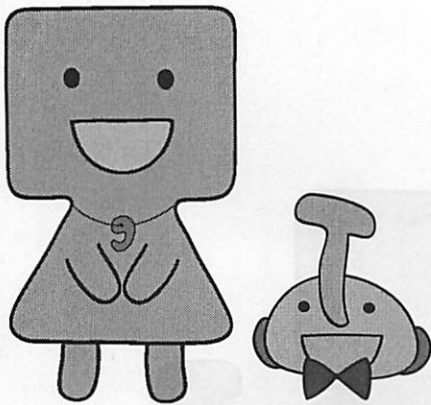


【ムロヤロテ】

高尾山古墳シンポジウム

—スルガの王 大いに塚を造る—

当日資料



平成 24 年 7 月 22 日 (日)

沼津市民文化センター小ホール

【プログラム】

12時30分 開場

13時00分～13時05分 開会の挨拶（教育長）

13時05分～13時30分 「シンポジウムの主旨と発掘調査の成果」 池谷信之

13時30分～14時05分 「弥生土器から古墳時代の土器へー大塚式の成立を中心としてー」
渡井英誉

14時10分～14時45分 「駿河における初期古墳の成立」 滝沢 誠

14時45分～15時00分 休憩

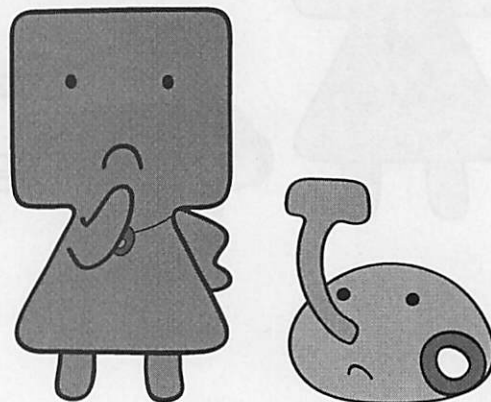
15時00分～15時35分 「高尾山古墳から見えてくる東海系文化」 赤塚次郎

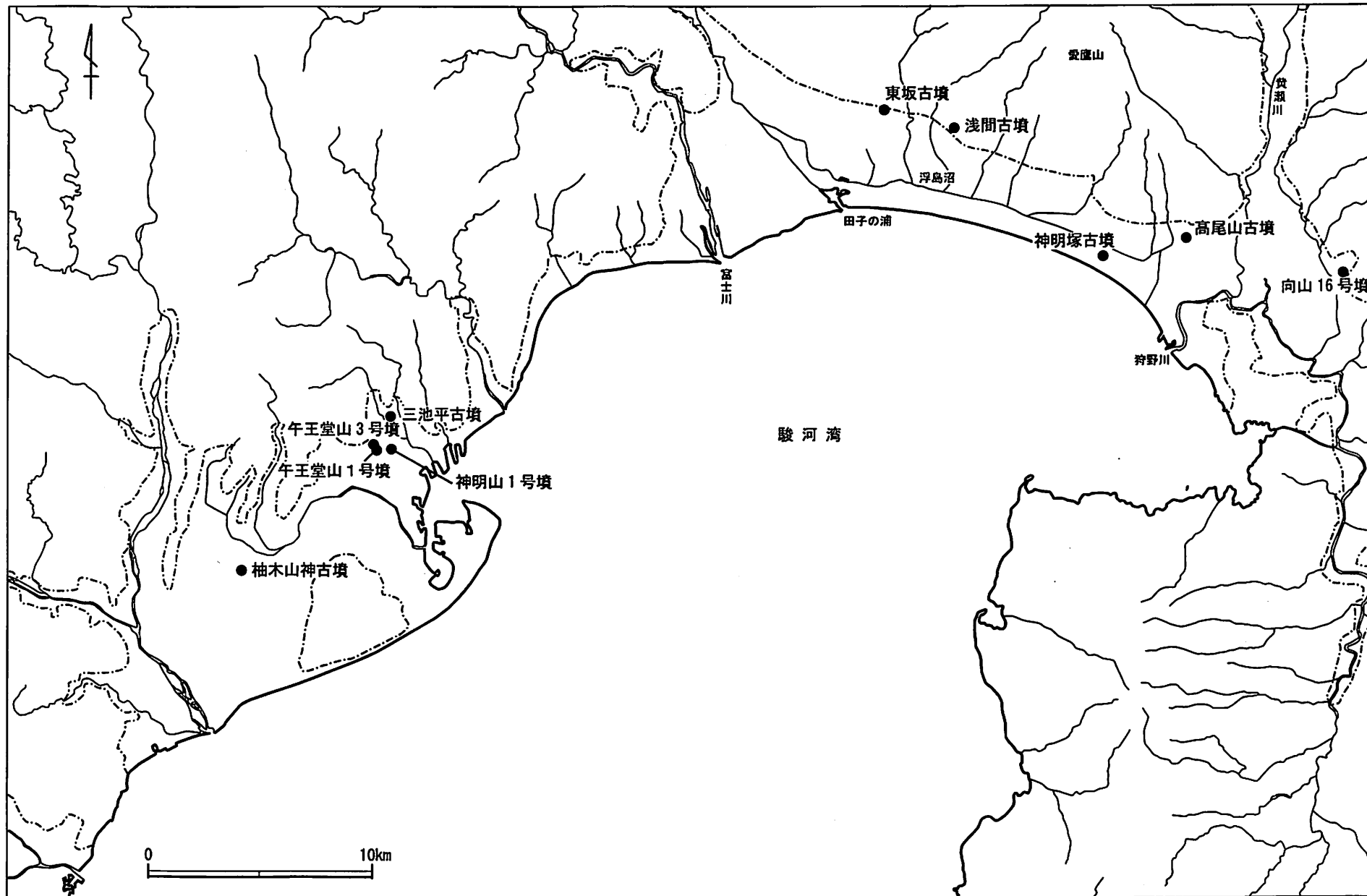
15時40分～16時15分 「高尾山古墳の評価と前方後方墳出現背景を考える」 寺沢 薫

16時15分～16時35分 質疑

16時35分～16時50分 「総括」 大塚初重

16時50分～16時55分 終了の挨拶（文化振興課長）

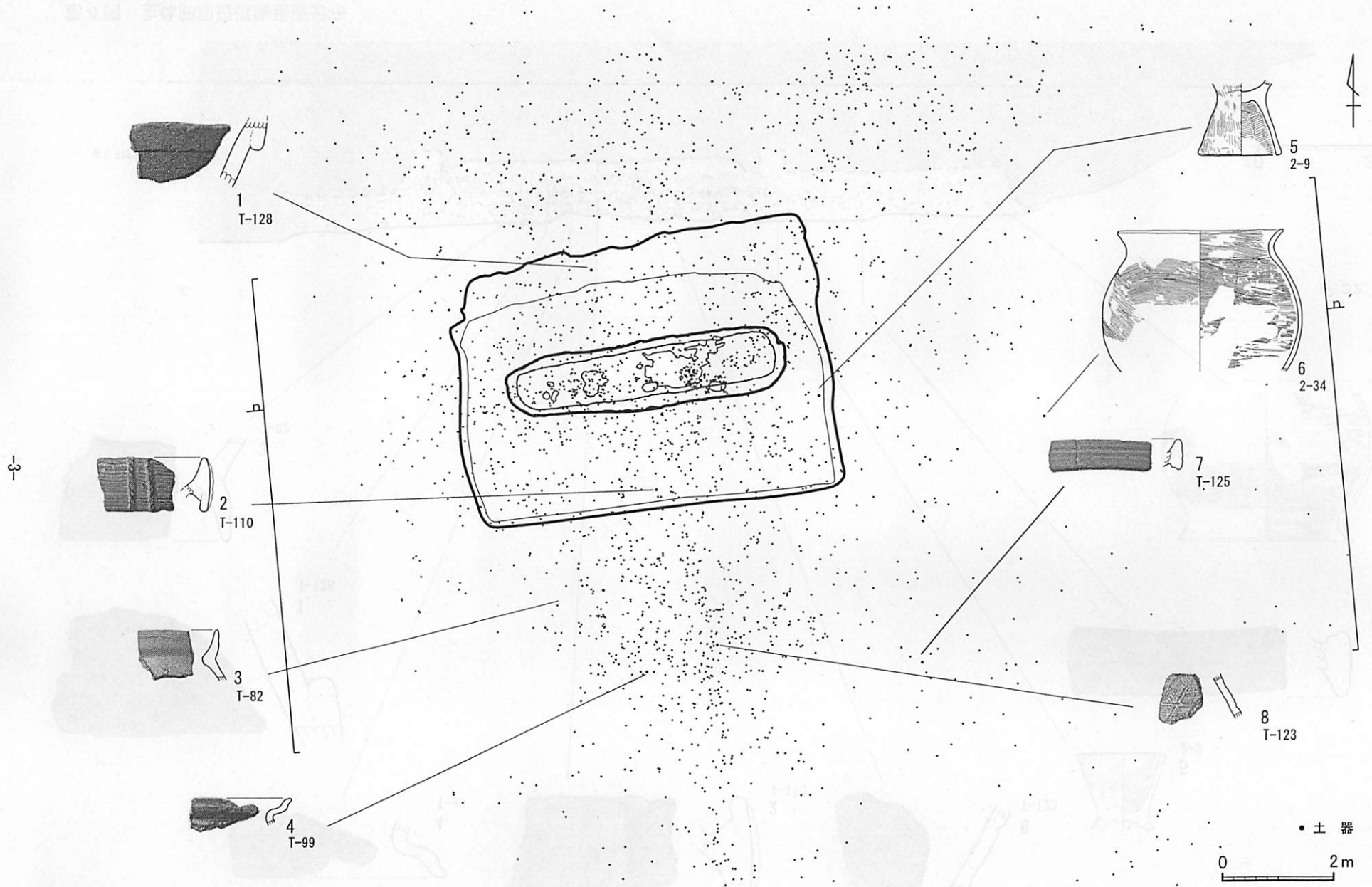




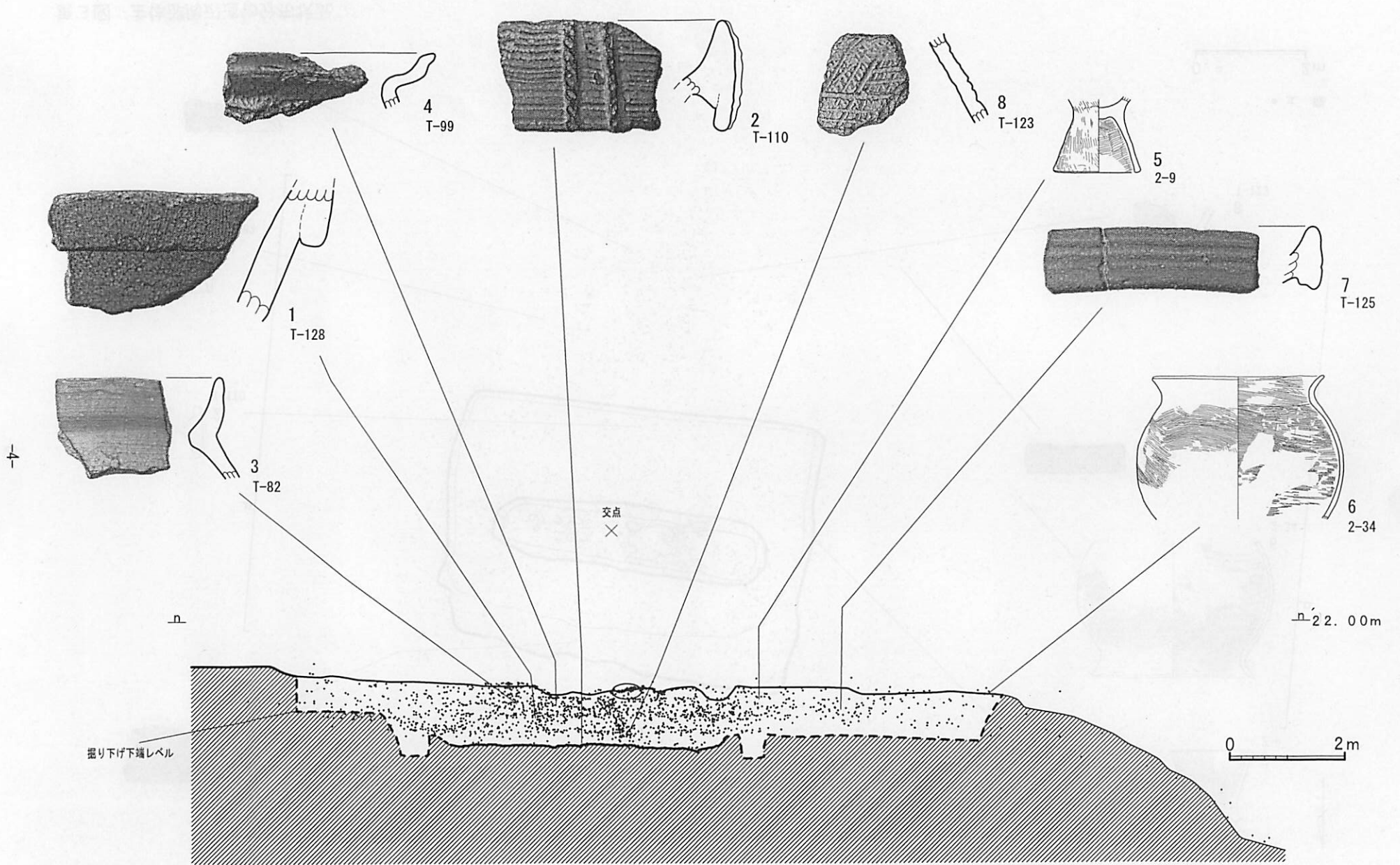
第1図 駿河湾周辺の前期古墳分布図



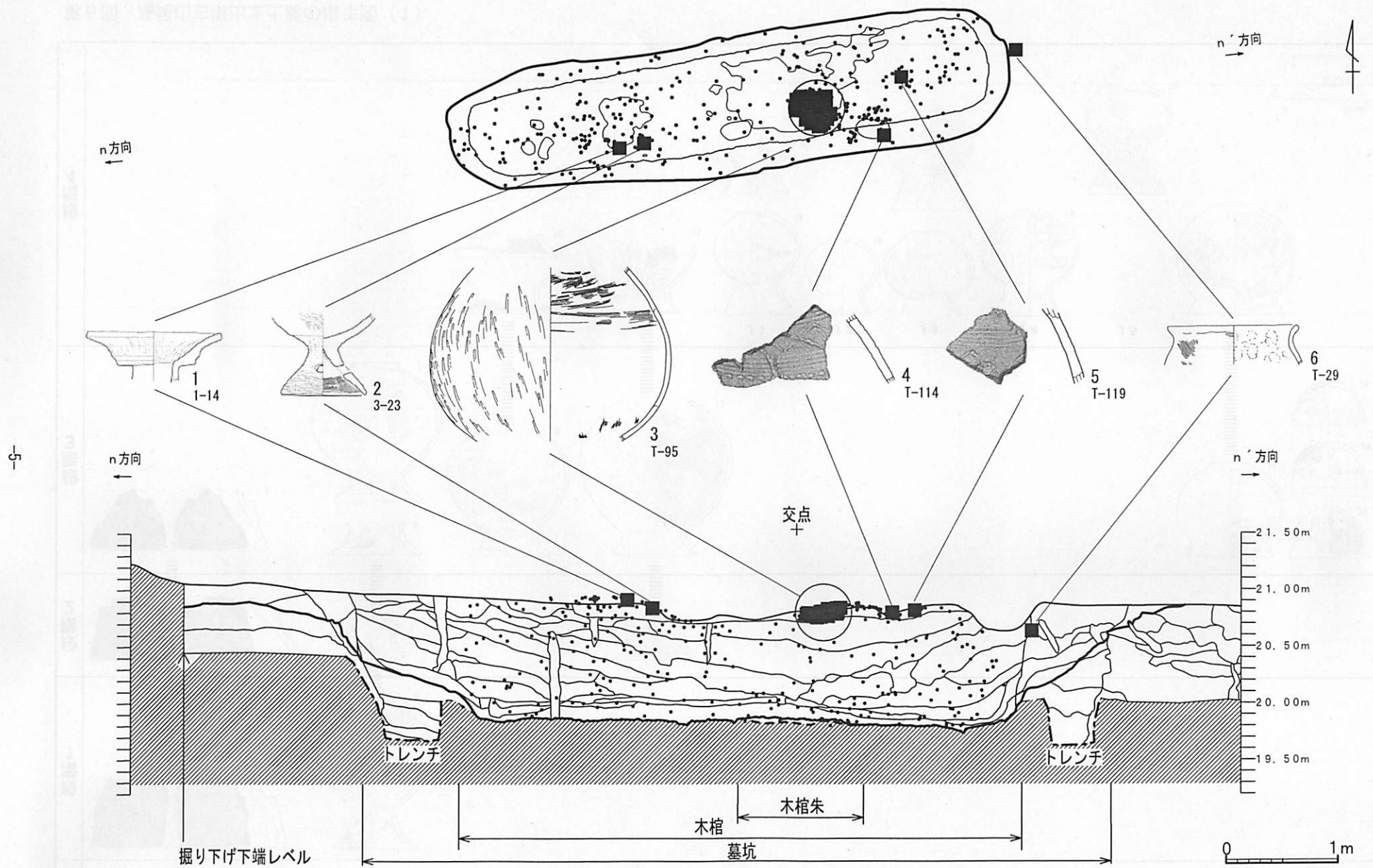
第2図 墳丘全体図



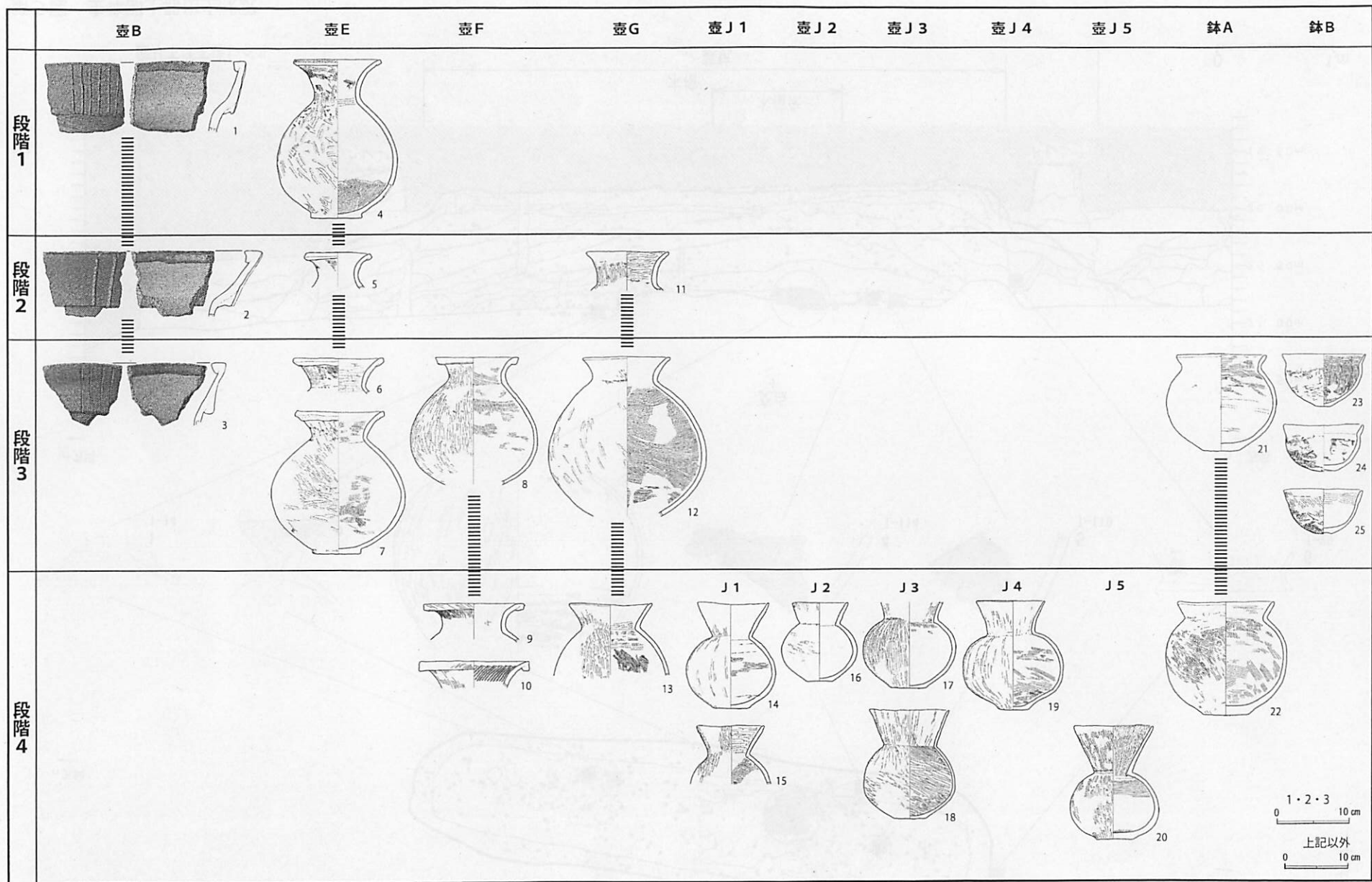
第3図 主体部周辺遺物分布状況



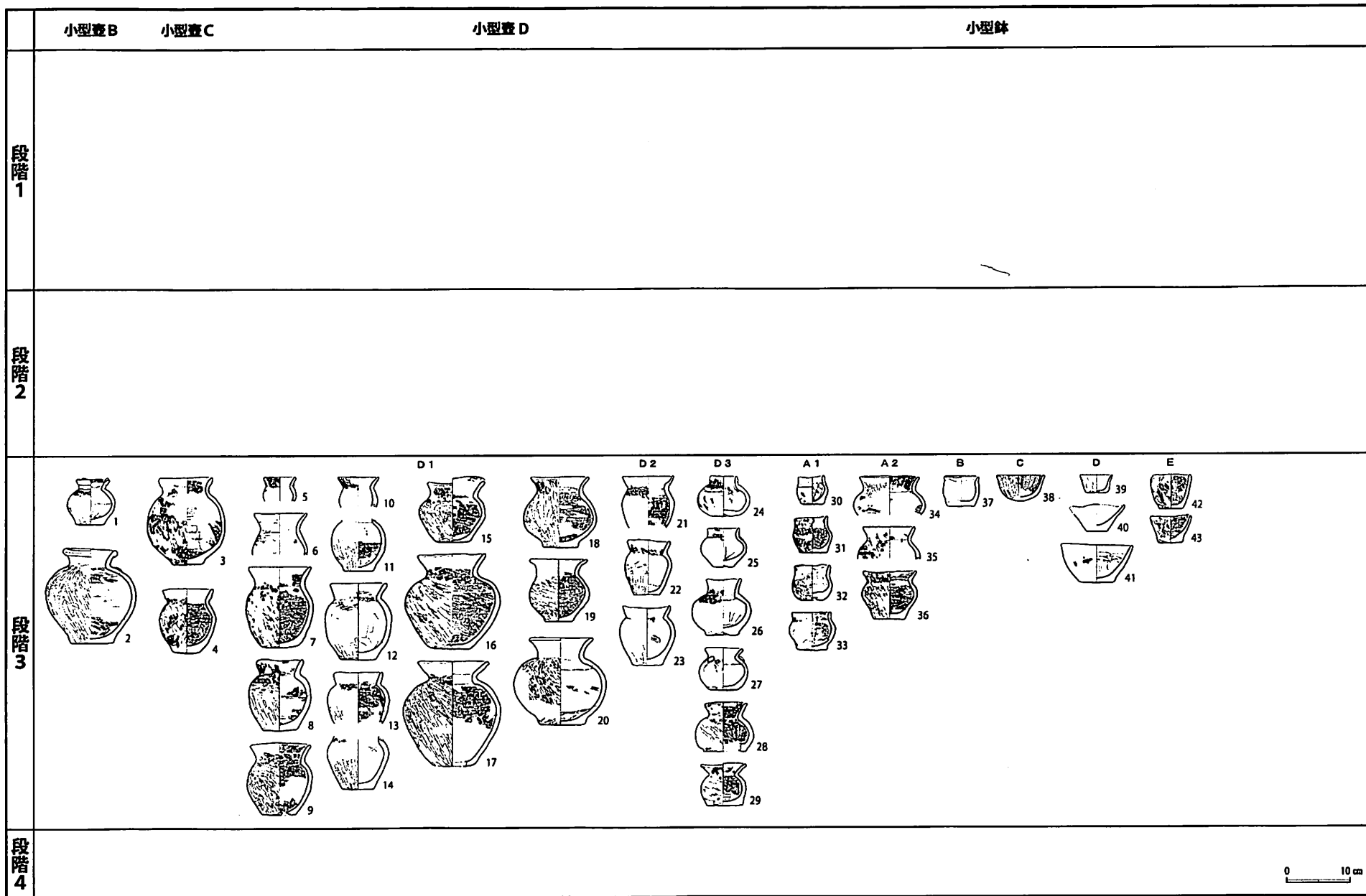
第4図 主体部周辺遺物垂直分布



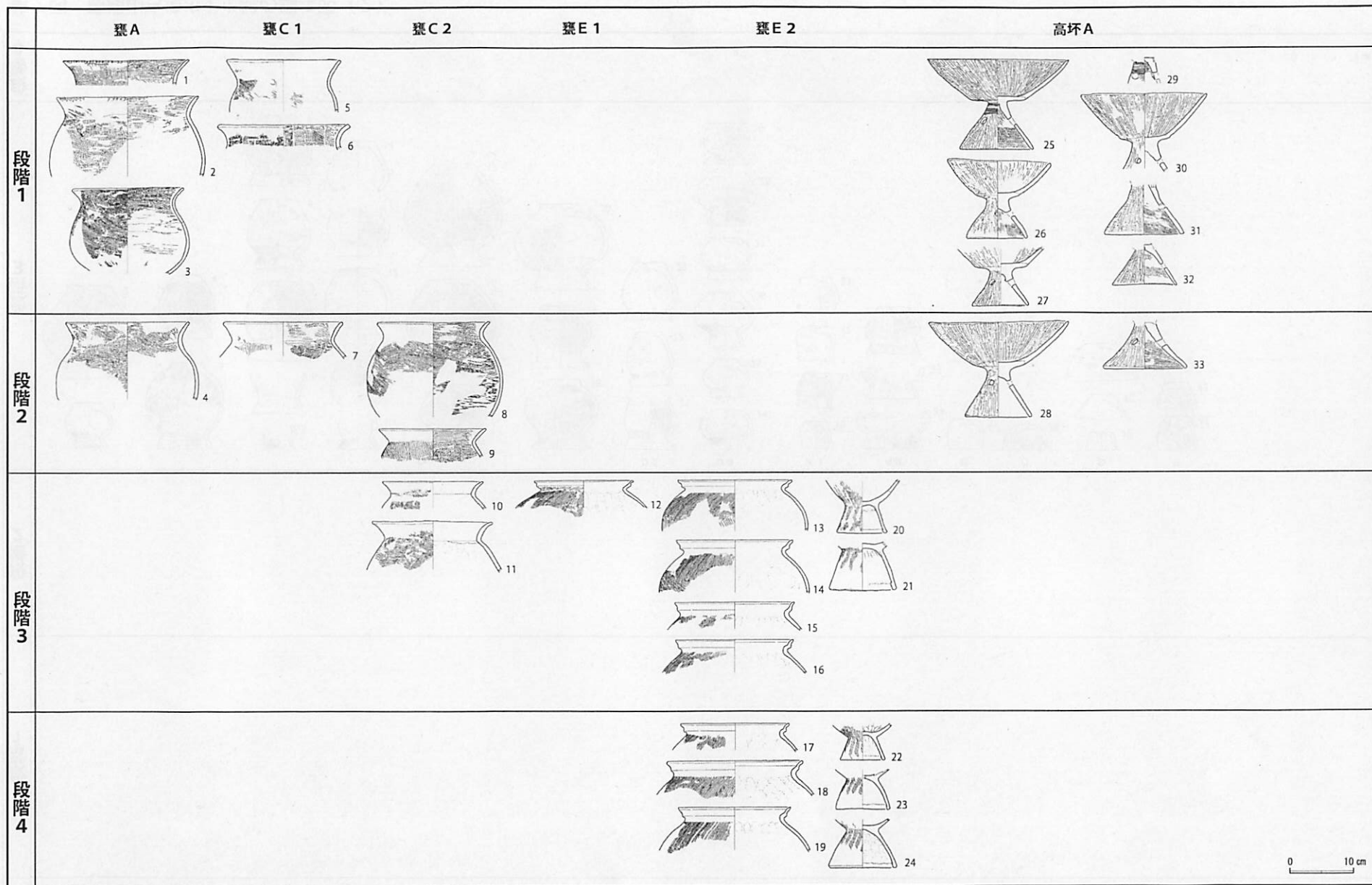
第5図 主体部土器出土状況



第6図 高尾山古墳出土土器の編年図(1)

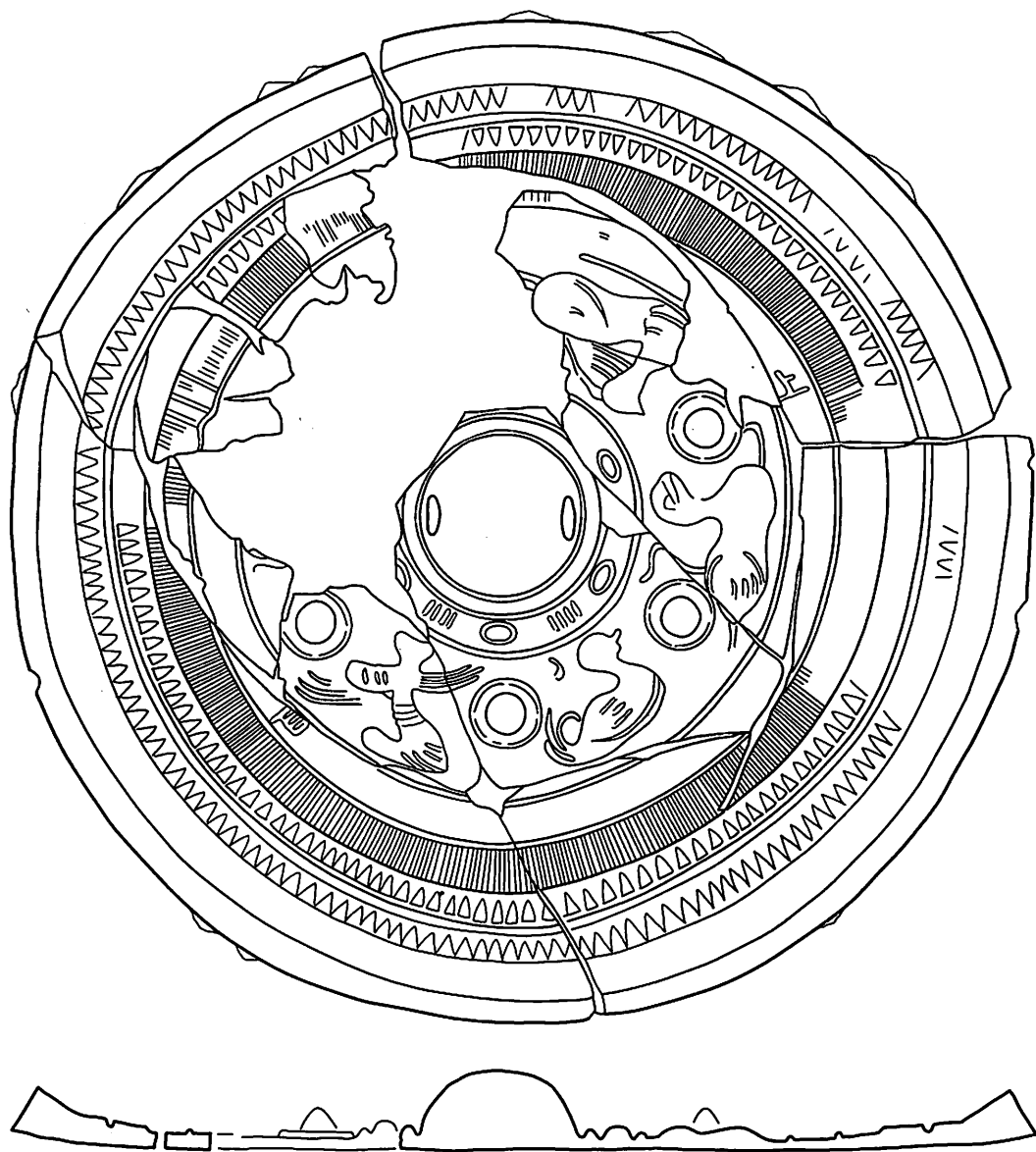


第7図 高尾山古墳出土土器の編年図(2)



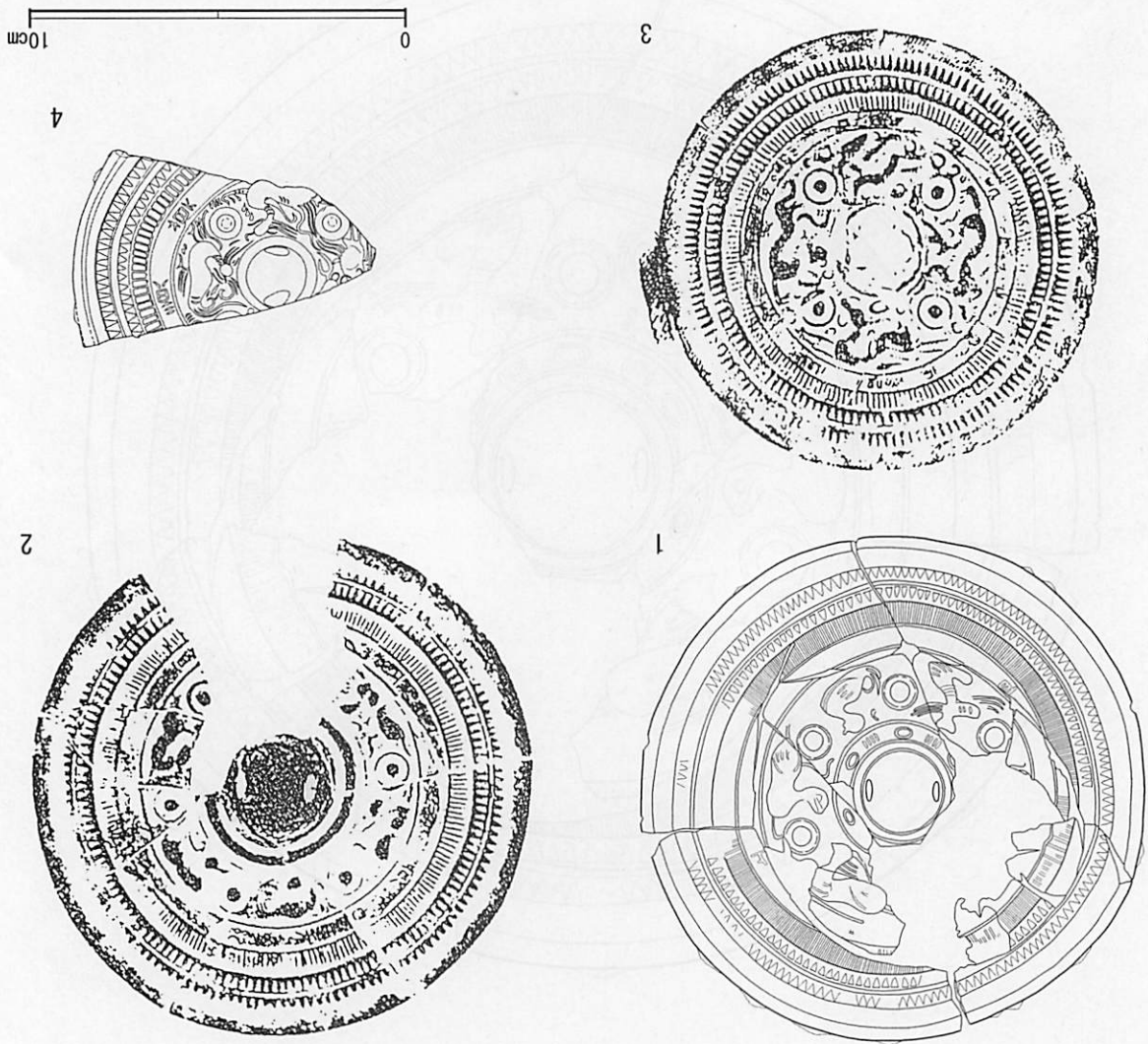
0 10 cm

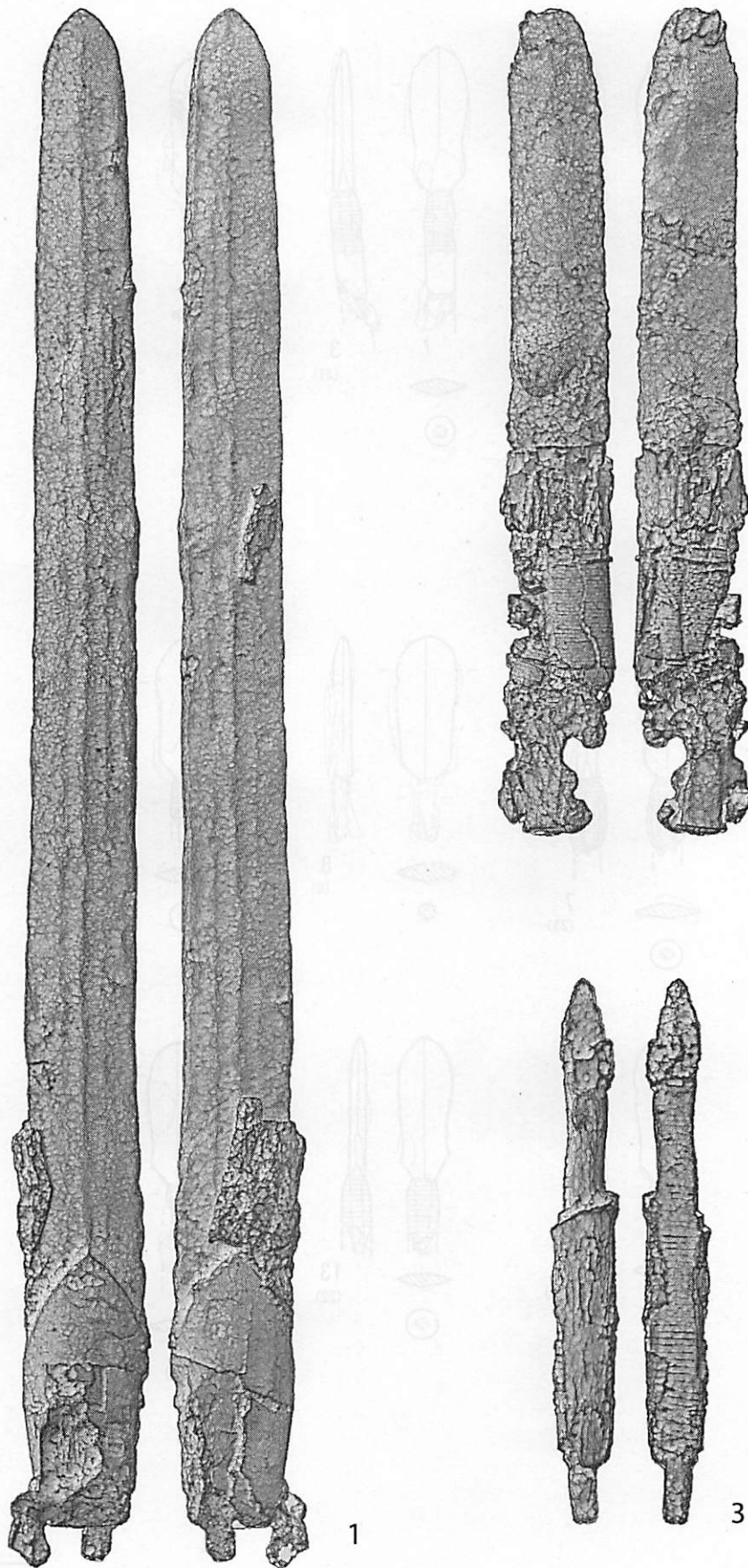
第8図 高尾山古墳出土土器の編年図(3)



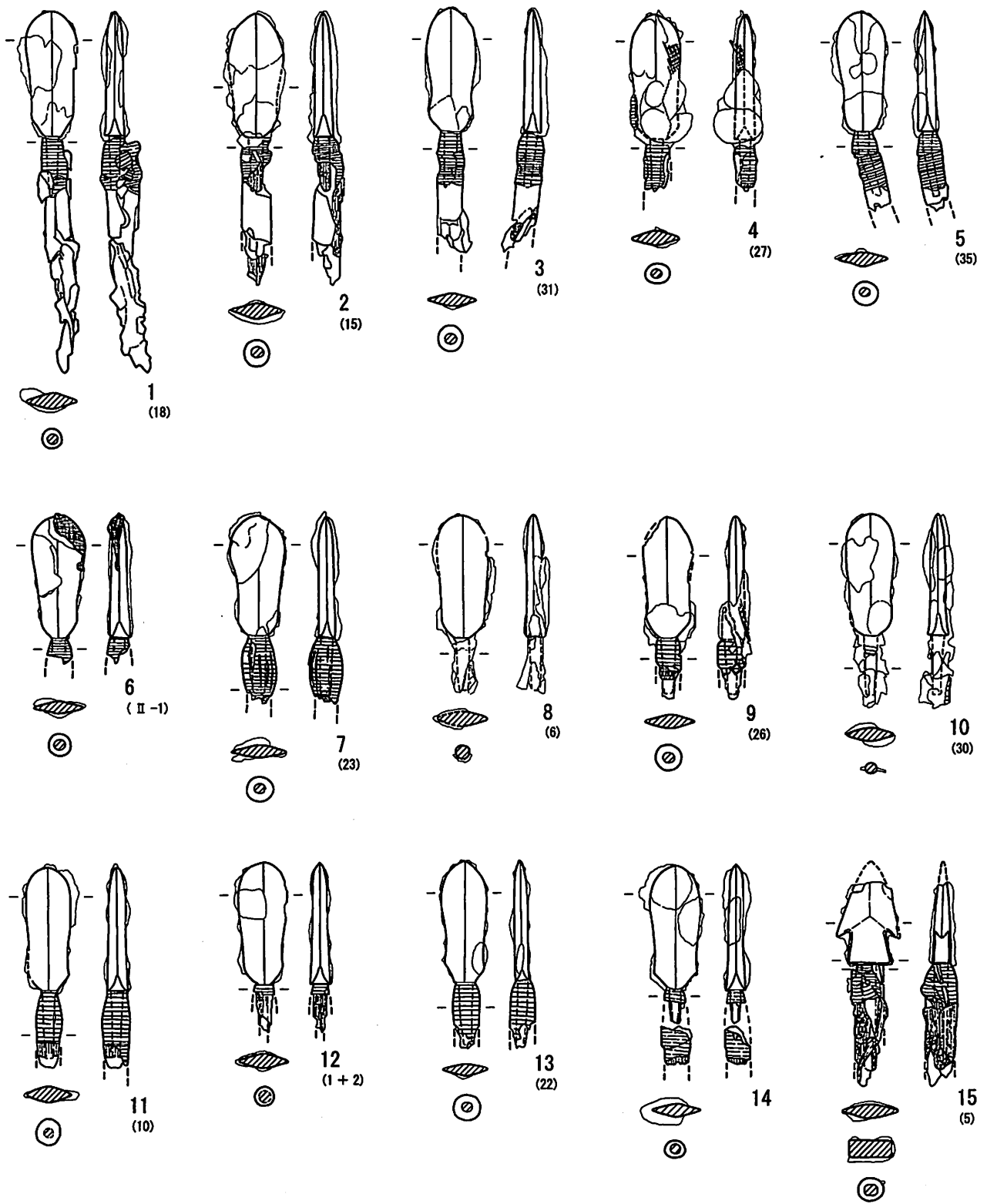
第9図 銅鏡実測図 (S=1/1)

1 静岡・高尾山古墳 2 長野・中山36号墳 3 長野・弘法山古墳 4 千葉・高部32号墳 (S=1/2)



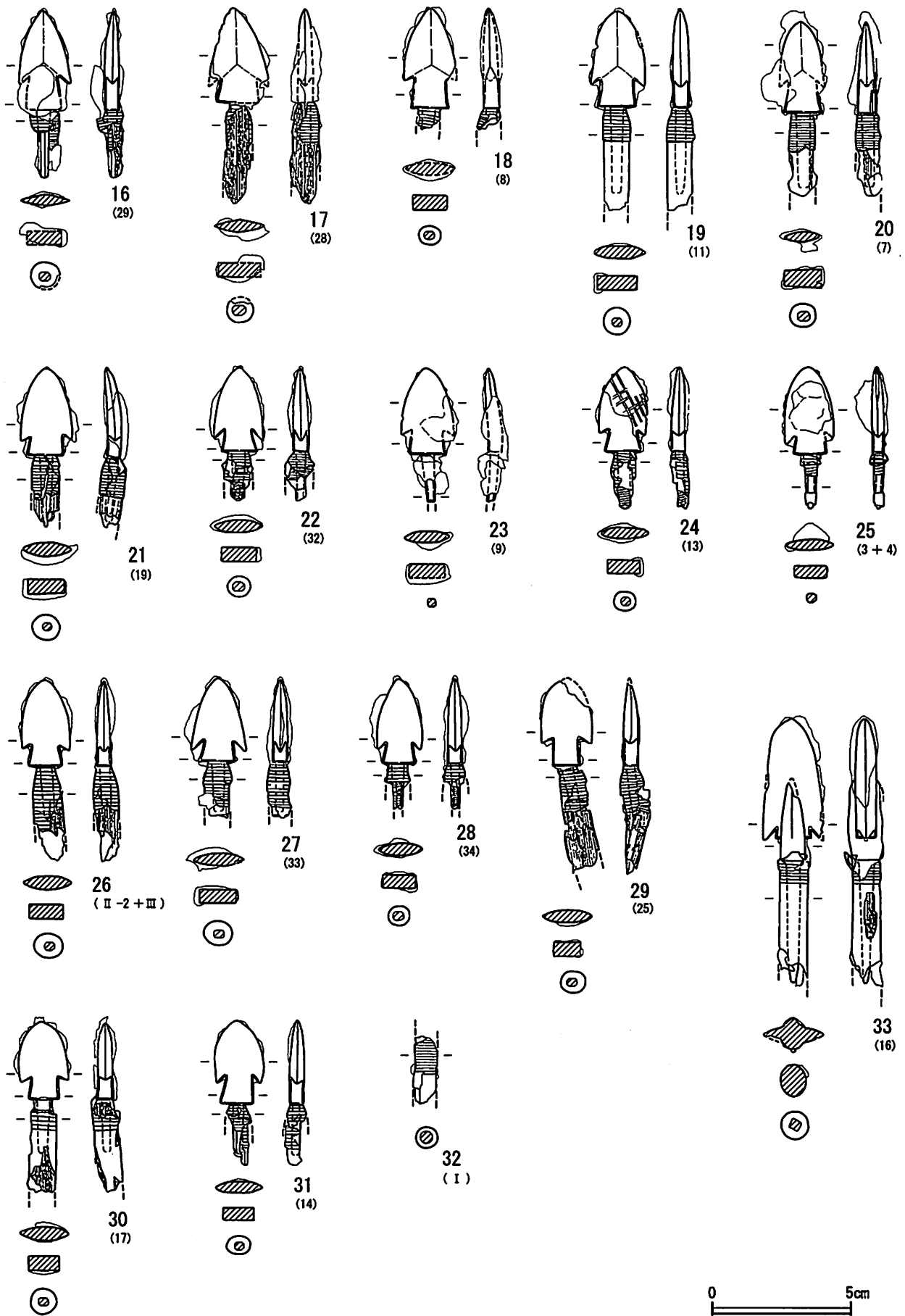


第11図 槍・鉞の3次元レーザースキャナー (PEAKIT) による画像 (1・2=1/2、3=2/3)

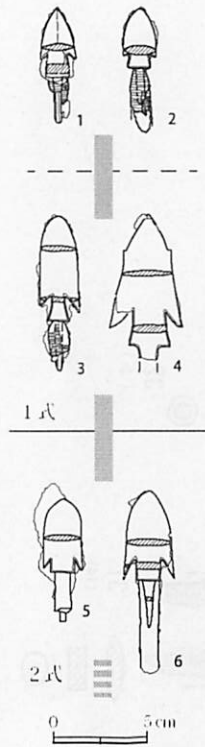


0 5cm

第12圖 鐵鏃測圖(1)

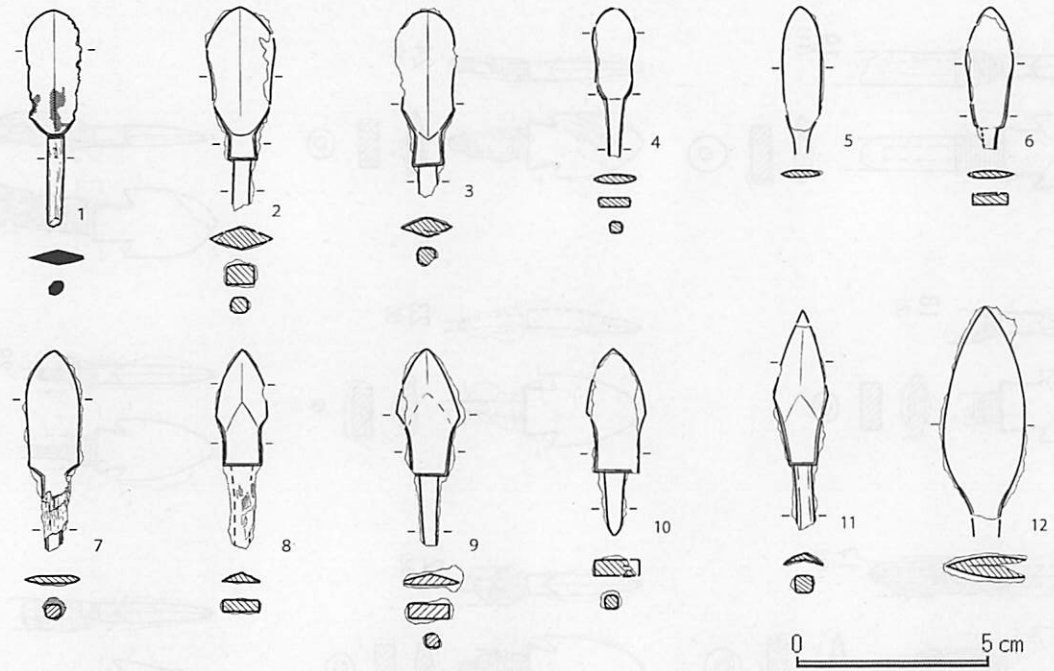


第13图 鉄鍬実測図(2)



1・2. 高尾山 3. 真名井 4. 東之宮
5. 阿志岐 B26 6. 寺戸大塚前方部

第 14 図 腸袂三角式の変遷 (S=1/4)



第 15 図 弘法山古墳出土の銅鏃・鉄鏃

高尾山古墳の評価と前方後方墳出現背景を考える

桜井市纏向学研究センター 寺澤 薫

1. 高尾山古墳の築造時期を考える

- (1) 副葬品の年代観
- (2) 伴出土器の評価と出土状況
 - ・「供献土器」は供献品か？
 - ・環壕内土器の「Ⅰ期」・「Ⅱ期」は築造時期を示すのか？
- (3) 築造以前の周辺遺構を考える

2. 高尾山古墳の築造企画

- (1) 円形原理の企画案
- (2) 纏向遺跡の「定形化」前方後円墳との類縁性

3. 駿東地域の初期古墳の評価

- (1) 富士宮市丸ヶ谷戸遺跡前方後方墳
- (2) 沼津市子ノ神古墳
- (3) 沼津市神明塚古墳

4. 初期前方後方墳の築造契機の一事例

……地域における纏向型前方後円墳と「纏向型」規格の前方後方墳の諸例

5. 前方後方墳の築造契機を考える

	築造の契機	王権との関係	規模	一般的な階級的位	地域的独自性
case A	王権との一次的な政治的関係	外様の・やや強い	大形墳	オウ以上	△
case B	地域の一次的王権参画者(前方後円墳)との二次的な政治的関係	外様の・弱い	大形墳～小形墳	王～小首長	△
case C	caseA・B被葬者との二次的、二次的な政治的関係	外様の・微弱	大形墳～小形墳	オウ以下	○
case D	caseA・B被葬者との社会的、文化的影響	なし	大形墳～小形墳	王～小首長	◎

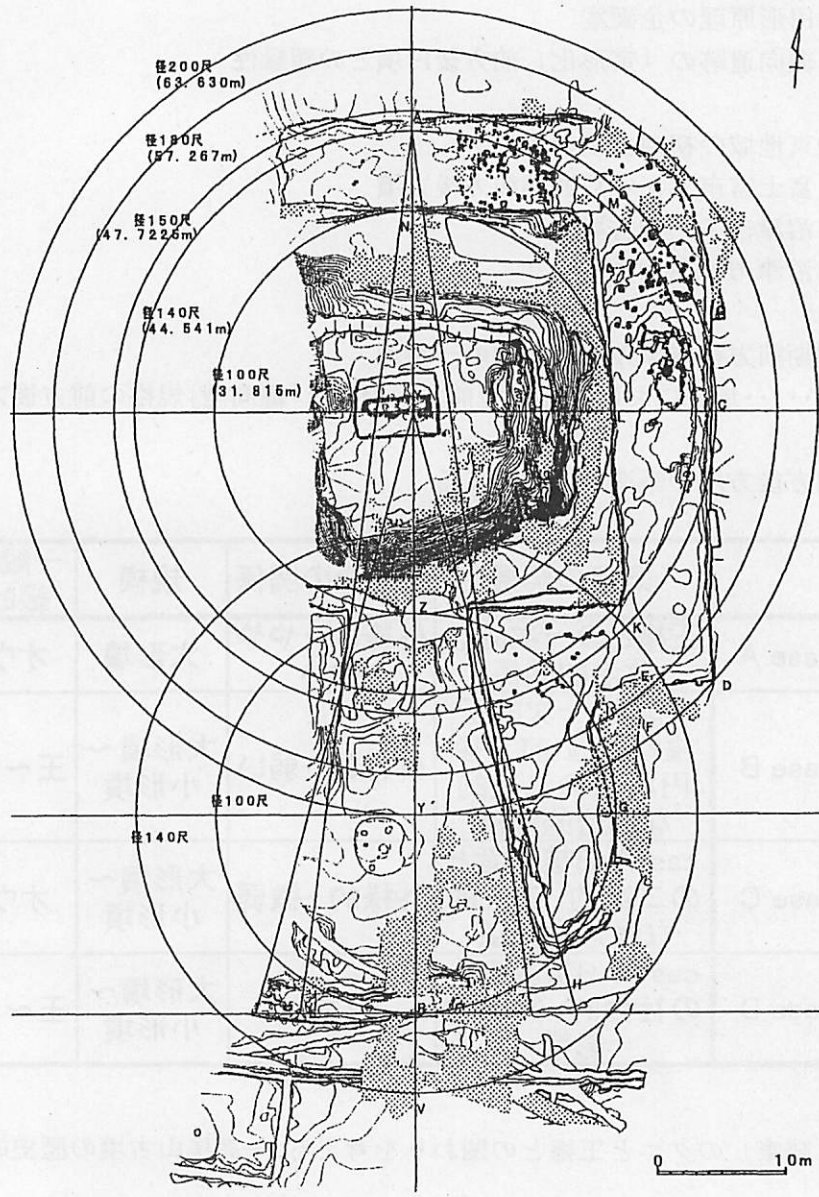
7. 「駿東」のクニと王権との関わりを考える —高尾山古墳の歴史的意義—

表 高尾山古墳の計測値と尺度換算

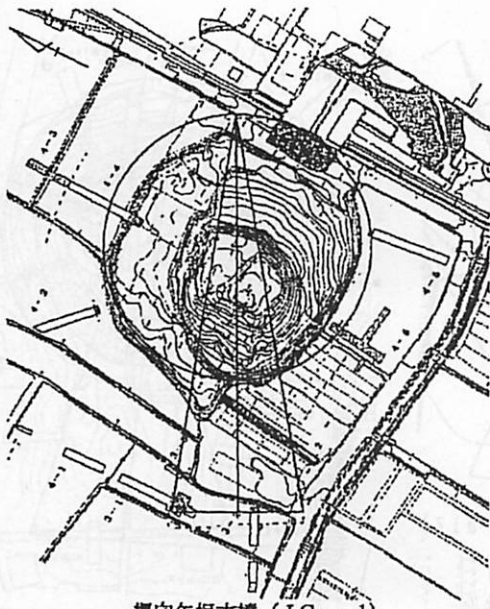
測定部位	計測値 (m)	後漢尺 (尺)	魏・晉尺 (尺)	古韓尺 (尺)	魯班尺 (尺)
墳丘長	62.178	266.856	259.075	232.876	195.438
		265	260	230	200
後方部長 (径)	31.254	134.137	130.225	117.056	98.237
		135	130	115	100
前方部長	30.453	130.67	126.888	114.056	95.719
		130	125	115	95
全長 (S0 2 まで)	76.098	326.601	317.075	285.011	239.189
		325	315	285	240
後方部背周壕幅	7.023	30.142	29.263	26.303	22.074
		30	30	25	20
くびれ部幅	9.717	41.704	40.488	36.393	30.642
		40	40	35	30
後方部長辺 (1/2)	24.482	105.073	102.008	91.693	76.951
		105	100	90	75
後方部短辺 (1/2)	17.085	73.326	71.188	63.989	53.701
		75	70	65	55
土溝幅	6.4	27.468	26.667	23.97	20.116
		25	25	25	20

凡例

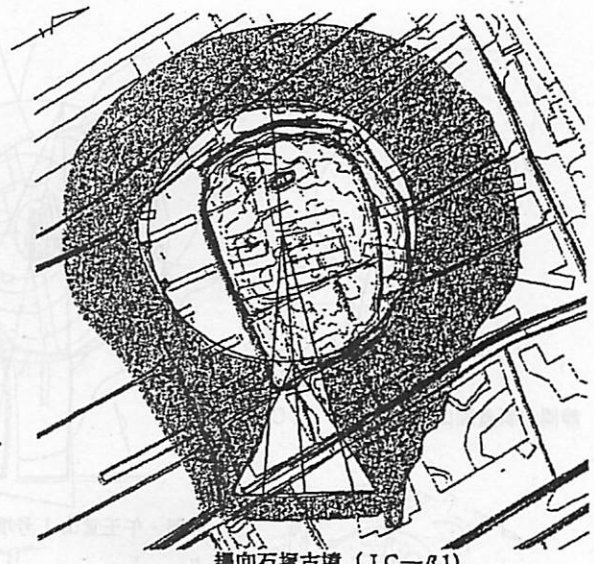
- 1 表中下半部の網掛け部分は有意な計測値とは考えられない部位を示す
- 2 後漢尺は23.3cm、魏・晉尺は24.0cmで平均値を示し、古韓尺は26.7cm、魯班尺31.81とする。
- 3 尺度換算値は小数点第4位を四捨五入した。
- 4 太字で示した尺度換算値は、5尺単位に置き換えたもとも近似した数値を示す。
- 5 計測値 (m) は恣意性を排除するために、報告書での計測値をそのまま採用した。



■ 高尾山古墳の設計企画の推定



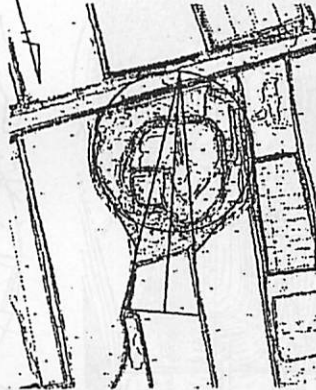
纏向矢塚古墳 (IC-a1)



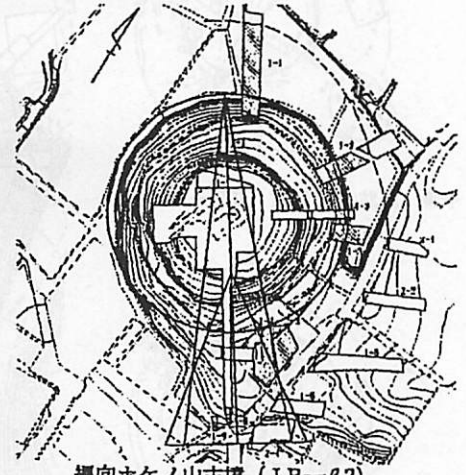
纏向石塚古墳 (IC-beta1)



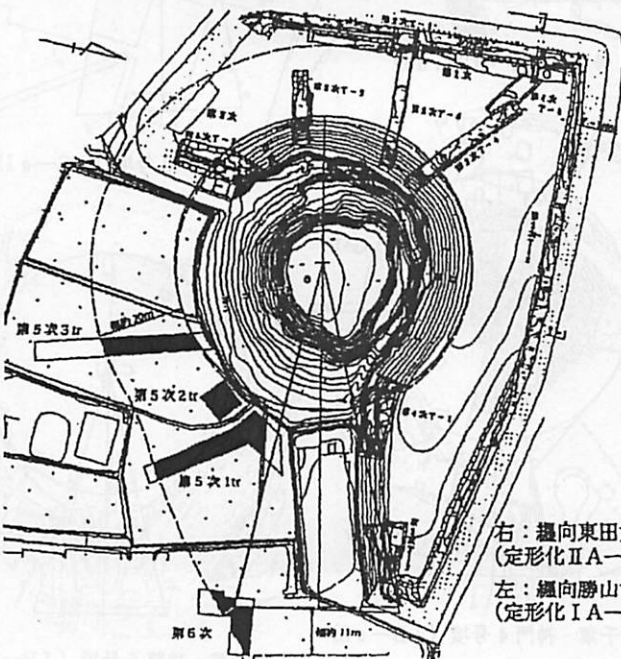
纏向メクリ1号墳 (方IA-a1)



巻野内石塚古墳 (IB-a1)

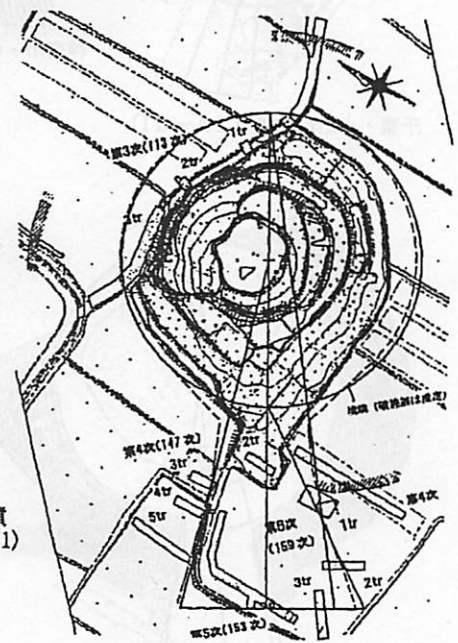


纏向ホケノ山古墳 (IB-beta2)



右：纏向東田大塚古墳 (定形化IIA-a2-beta1)

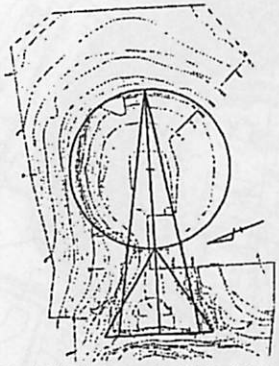
左：纏向勝山古墳 (定形化IA-beta2)



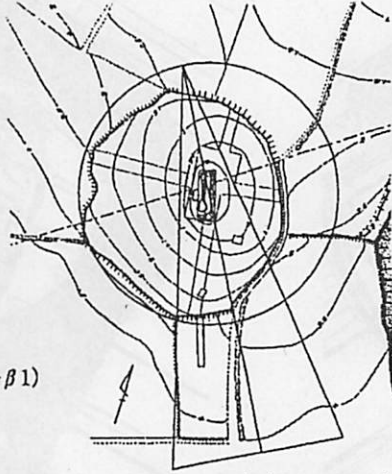
11111

0 50m

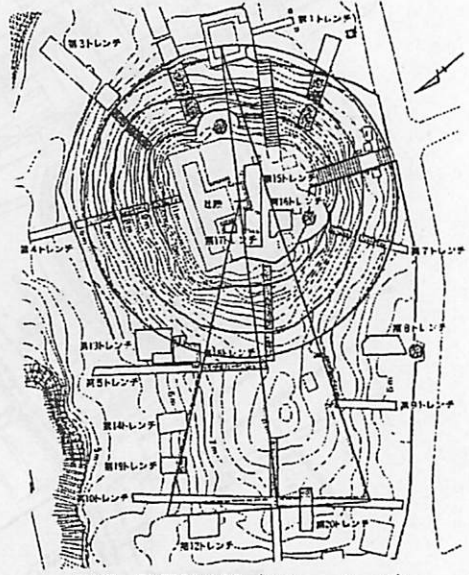
■ 纏向遺跡の前方後円(方)墳



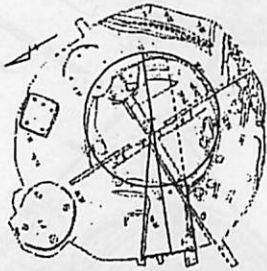
静岡・新豊院山D-2号墳 (IC-β1)



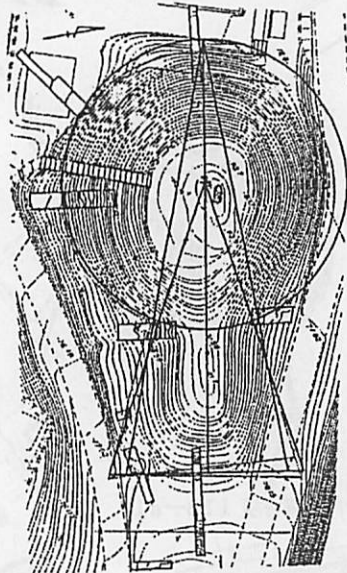
静岡・午王堂山1号墳 (IA-a1?)



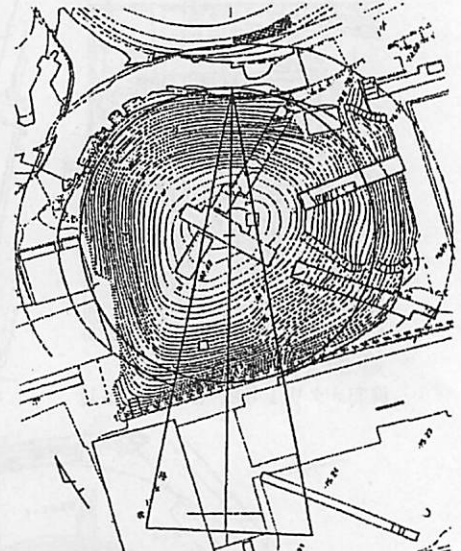
静岡・神明塚古墳 (IIA-a1-a2)



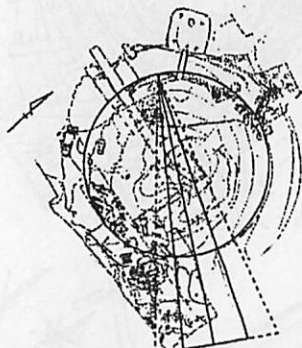
千葉・諏訪台1号墳 (IIB-a1-ax)



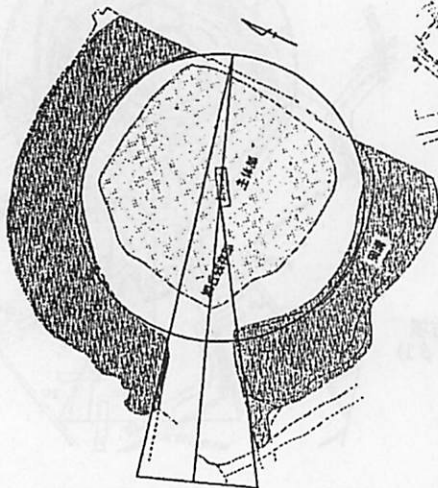
神奈川・秋葉山2号墳 (IA-β2 or a1)



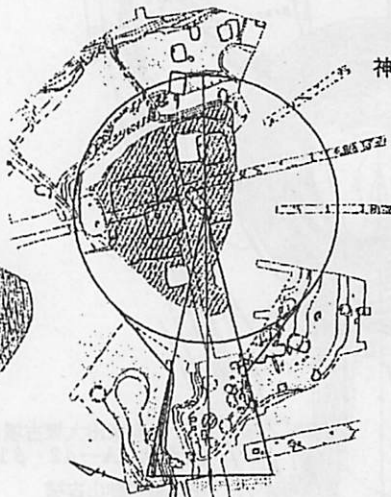
神奈川・秋葉山3号墳 (IC-a1)



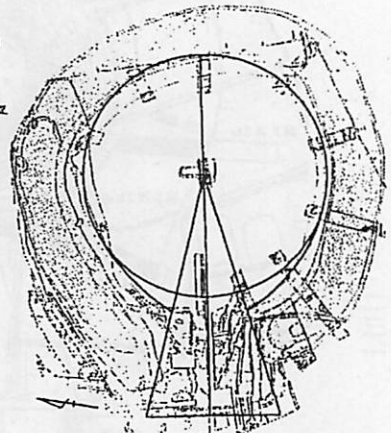
千葉・小田部古墳 (IA-a1)



千葉・神門3号墳 (IIA-a1-a2)



千葉・神門4号墳 (IB-a2)



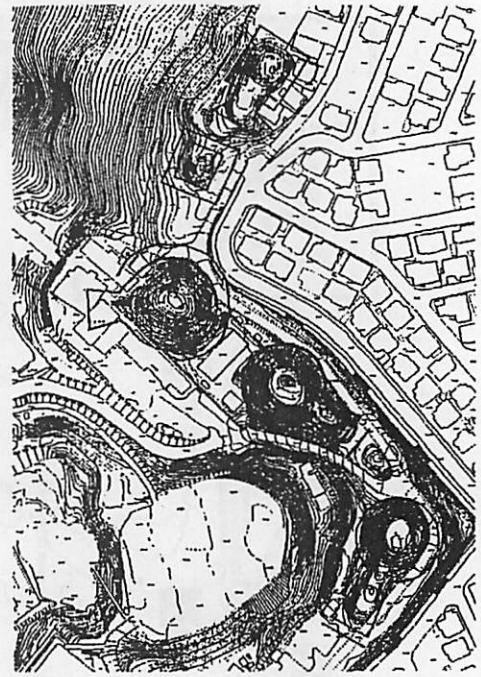
千葉・神門5号墳 (IB-a2)

0 50m

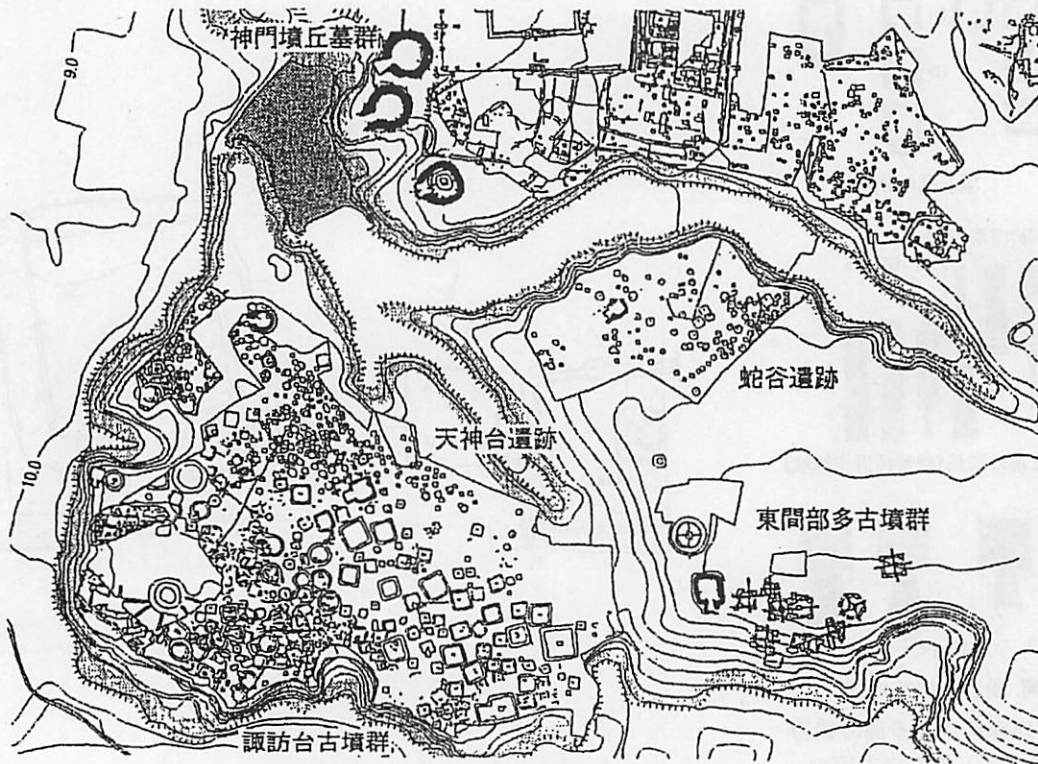
■ 東海・南関東地方の纏向型前方後円墳



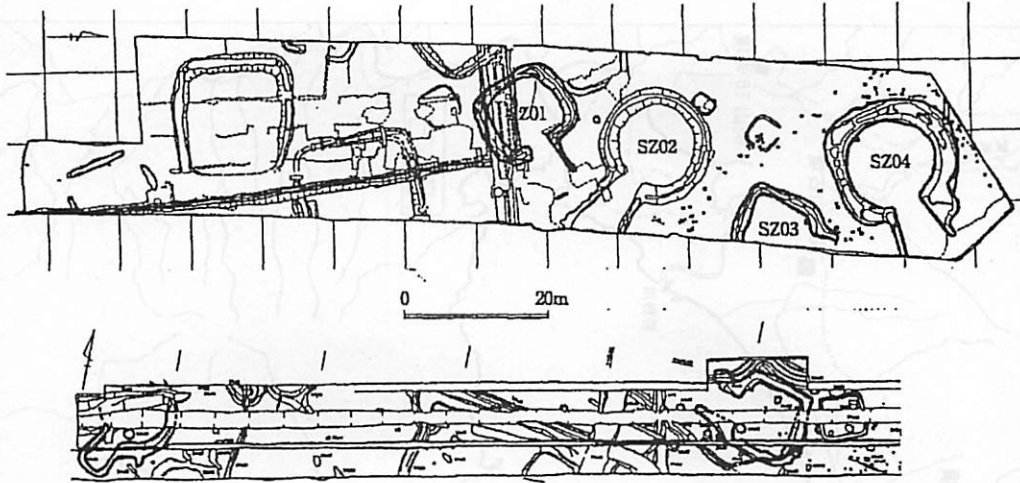
■ 那珂八幡古墳と纏向型規格の前方後方墳 (1/4000)



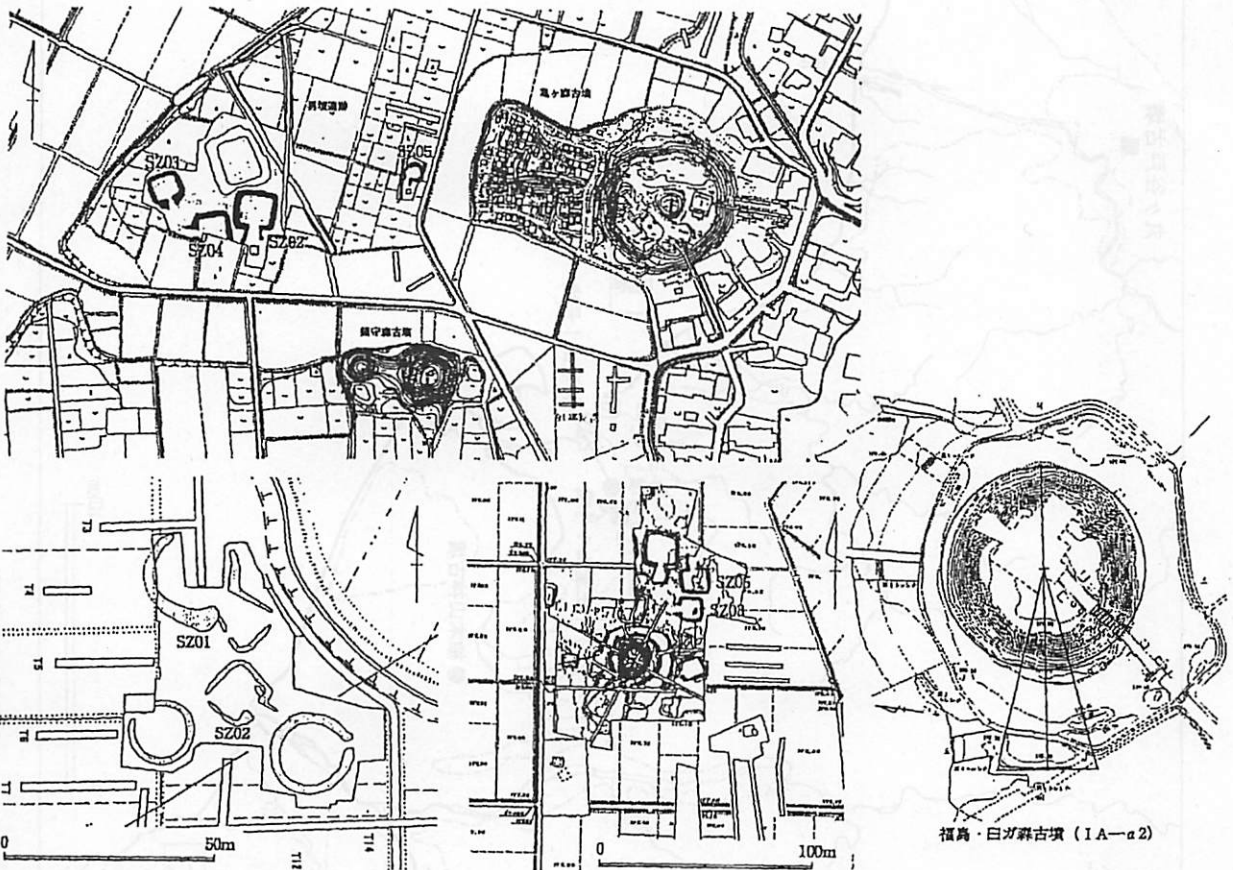
■ 秋葉山古墳群の纏向型前方後円(方)墳 (1/3000)



■ 上総国分寺台の纏向型前方後円(方)墳 (1/7500)

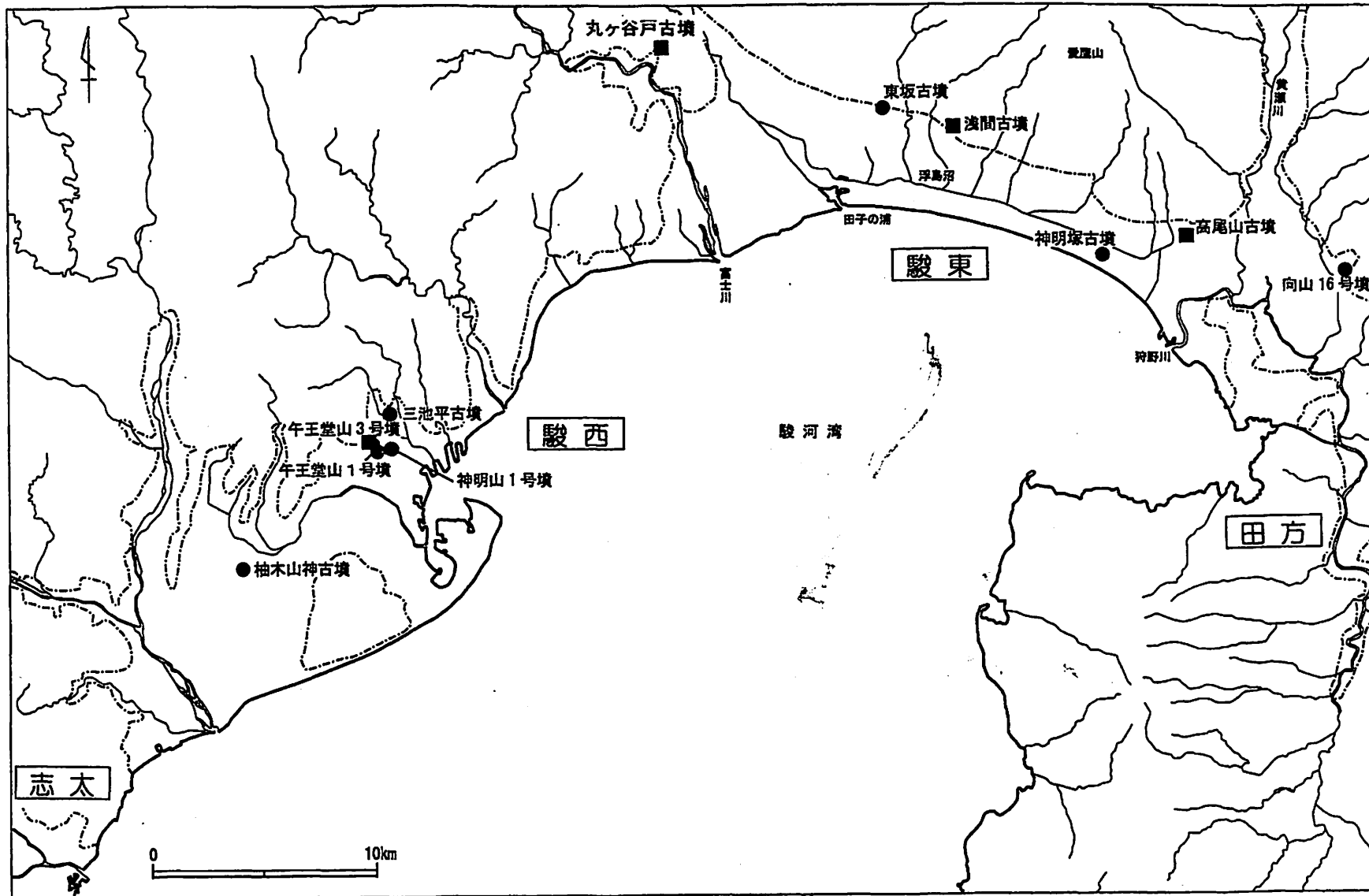


■ 富山市百塚住吉遺跡(上)と高松市空港跡地遺跡(下)の橢向型前方後円墳と橢向型規格の前方後方墳 [小黑編 2009, 木下編 2002 から作成]



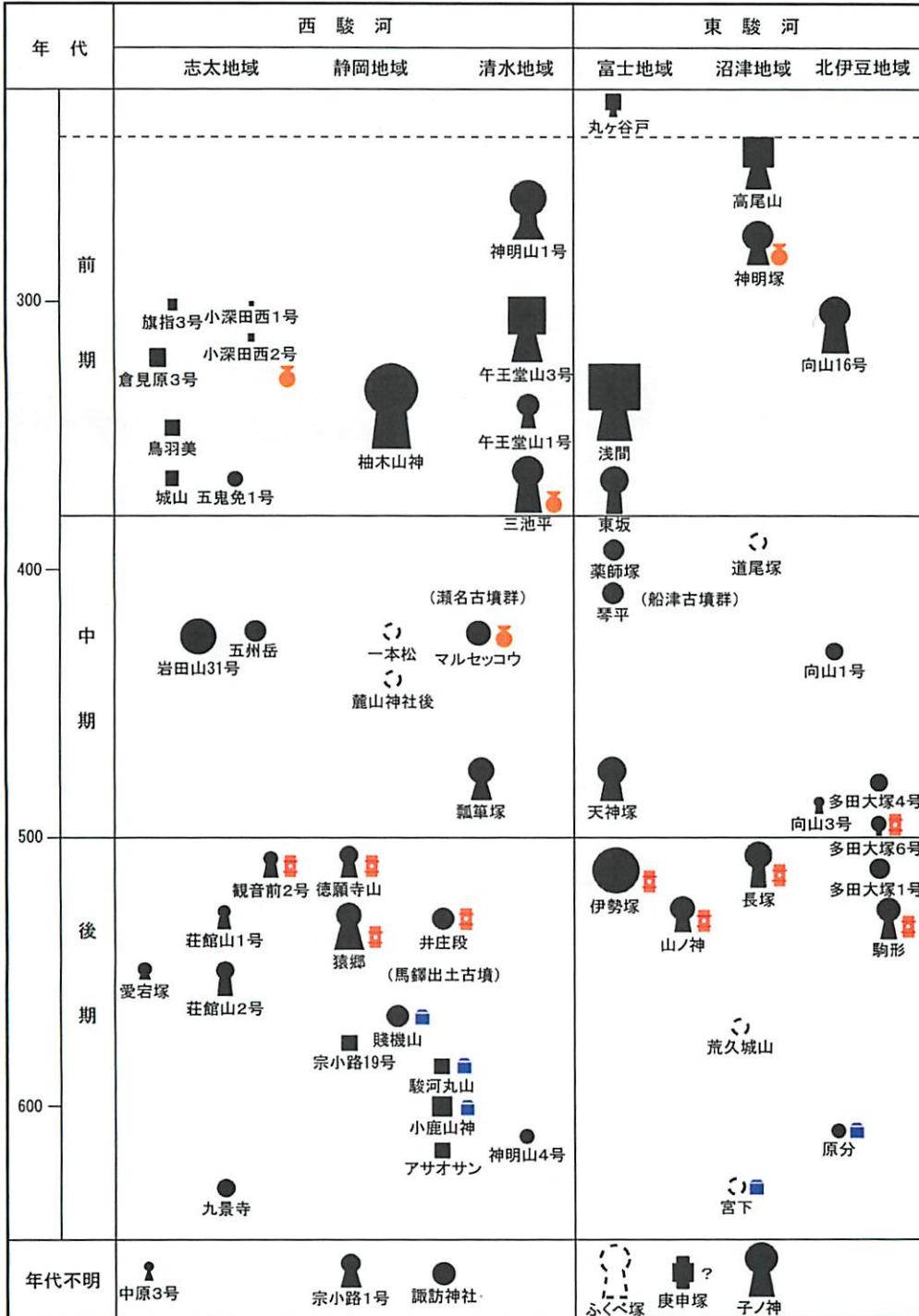
■ 会津盆地北西部阿賀川地区の橢向型前方後円(方)墳 (和田・高橋・古川編 1990, 和田・古川編 1993 から作成)

上: 男墳遺跡の橢向型前方後円(方)墳, 右下: 官東遺跡の橢向型規格前方後方墳, 右下: 杵ヶ森古墳(「定形化」)と橢向型規格前方後方墳。



■ 駿河湾周辺の前期古墳分布図

駿河における主要古墳の変遷



 底部穿孔壺 (壺形埴輪)
  円筒埴輪
  家形石棺

* 波線は墳形不詳